



RLI 通信

Vol.16

ロータリー・リーダーシップ研究会
RLI 日本支部第 2790 地区

2021 年 4 月号

二度の延期を乗り越えて RLI パート I 開催

第 2790 地区では、2021 年 4 月 3 日に、RLI パート I を開催した。コロナ禍により、2 度にわたり日程が延期されたものの、当日は、17 名が参加して、7 名のパート I II III 修了者を輩出した。また、実行委員として、27 人が、ディスカッションリーダーとして運営に協力をした。パート I 開催にあたり、漆原ガバナー、諸岡パストガバナーが来てくださり、挨拶をして頂いた。



国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 漆原 摂子
(勝浦 RC)

開会式 挨拶 (抜粋)

皆様、こんにちは。ガバナーを仰せつかっております勝浦 RC 所属の漆原摂子でございます。本日は土曜日、休みの方も多にお察し申し上げますが、朝早くからお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。今年度の RLI、ようやくパート I が本日スタート致しました。コロナ禍のなかそして、緊急事態宣言が何度も発せられるなか、延期に延期が重なりまして、今年の 2 月にも実は、山下推進委員長の方から、「何とかできないか。」というお電話でご相談を受けましたが、やはりまだ緊急事態宣言下のなかなので、もう少し我慢してください。という断腸の思いのお願いを申し上げまして、そして、なんとか本日、RLI パート I 開講となりましたことには、山下委員長をはじめ、清田実行委員長、そして、推進委員、実行委員の皆様、御尽力に敬服を申し上げる次第でございます。さて、RLI

後ほど、趣旨説明とかもあろうかと思いますが、ロータリーの様々なトピックを題材として、ロータリアンがクラブを越え、グループを越え、胸襟を開いてディスカッションをするというものでございます。いわゆる、敵対心が生まれるような、ディベートというよりは、他人の様々な多様な意見を聞くディスカッションの場、このところ、私、ガバナー月信でも申し上げているのですが、RI、国際ロータリーが、多様性、柔軟性、そういったものを前面に打ち出しております、クラブ内では見えなかった他のクラブ、あるいは、他の年配の方々のご意見を、寛容な気持ちでお受け止め頂き、新しい、多様性、柔軟性を受け入れるような、そういった機会の場合となりますことを、本日、祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。長丁場となりますが、どうぞ頑張って頂ければと思います。御静聴、ありがとうございました。



国際ロータリー第 2790 地区
パストガバナー 諸岡 靖彦
(成田 RC)

皆様、おはようございます。パストガバナーといいますが、漆原ガバナーの前にやらせて頂いたばかりの諸岡でございます。私のガバナー年度でありました丁度 1 年前の 3 月から、コロナ禍で苛まれ始めました。私の年度では、最後の 3 か月、4 か月ということでありましたけれども、コロナという我々の世代では未知への遭遇、全世界的な大きな出来事のなかで、新しい事態をどうやって切り開いていくかという、大変大きな難題がロータリーにも突きつけられていると、今日まで考えてきておりました。コロナの影響で、私の身の回りも、色々な会合や、活動も、ほとんど、鳴りを潜めているのが現実でございます。

今こうしてお集まり頂いた方々は、今、何かをして

ゆかなければいけない、という危機意識を持っていらっしゃる方ばかりでないかと推察致しております。ただ、世の中全体を見渡してみますと、地球全体の、これからの日本の、あるいは、ロータリーのこれからの、どうしたら良いのだろうかとか真剣に考える方は、何か少ないのではないのかなという気がしてならないのでございます。皆様方のクラブは、このコロナ禍で、いかが活動されておられますか。ロータリーですから、何らかの形で、例会による繋がり、持っているようなご努力がされていれば、まだしもでございますけれども、はっきり把握しているわけではございませんが、いくつかのクラブでは、例会すら行われていない現実があるということです。

ですから、このコロナ禍で何かをして行くためには、世の中を勉強する。その前に、我々の立ち位置であれば、我々の地域、そしてまた、所属しているクラブのなかで、いかにして皆様方が、それぞれのリーダーシップを発揮して、自ら率先して、会員の仲間に呼びかけていくという、打開に向けた活動を是非ともやって行かなければならない時期ではないかと、考えるわけでありませう。日本人は、最近勉強する人が少なくなってきていますと、そんな風感じております。現実にロータリ

ーの中でも、そういう気配も少なからずあるように感じてならない訳であります。でもやはり、ロータリーを知るためには、ロータリーについて勉強をして頂く、その勉強の機会として、RLIというプログラムは、国際ロータリーが認めた、そしてまた、日本の多くの地区が採用しているロータリーを知っていただくためのプログラムでございます。

ですから、皆様方には、まず、皆様のクラブをしつかりと維持、継続をして頂くためにも、RLIにご参加の上で何かを得て頂く、そしてまた、ここで集まってきた同志の方々との繋がりを得ていただいて、そして局面を切り開いていくヒントを掴んでいただきたいと思っております。今日のRLIパートIでございますが、パートII、パートIII、ということで、プログラムを継続して学習していただき、更に次のステップへと進んで頂きたいと、お願いを申し上げまして、ご挨拶致します。

ありがとうございました。

ディスカッションの様子



パート I ・ II ・ III 修了者



鈴木 寛尚 (富里)



石引 美貴 (市川南)



三橋 美子 (鋸南)



服部 宏司 (我孫子)



浅野 肇 (柏西)



松田 武 (野田東)



森 三枝 (柏南)

パート I ・ パート II ・ パート III 修了者

鈴木 寛尚 (富里) ・ 石引 美貴 (市川南) ・ 三橋 美子 (鋸南) ・
服部 宏司 (我孫子) ・ 浅野 肇 (柏西) ・ 松田 武 (野田東) ・
森 三枝 (柏南)

以上 7 名 バッチ授与

パート I 修了者

鈴木 寛尚 (富里) ・ 鈴木 利雄 (八千代) ・ 石引 美貴 (市川南) ・ 中墓 洋 (市川南) ・ 月居 竜吾 (浦安ベイ) ・ 大塚 孝典 (浦安ベイ) ・ 三橋 美子 (鋸南) ・ 服部 宏司 (我孫子) ・ 坂下 雅紀 (千葉東) ・ 浅野 肇 (柏西) ・ 松田 武 (野田東) ・ 森 三枝 (柏南) ・ 山本 昭彦 (柏南) ・ 吉川 末満 (柏南) ・ 神 正臣 (柏南) ・ 稲葉 健 (印西) ・ 玉木 実 (印西)
以上 17 名

第 2790 地区 R L I 開催日程	2020-21 漆原ガバナー年度 R L I 開催日程	【参加登録費制度】
・ パート II	2021 年 5 月 3 1 日 (月) 10 時開講	千葉市民会館
・ パート III 前半	2021 年 6 月 5 日 (土) 13 時開講	オンライン開催
・ パート III 後半	2021 年 6 月 1 3 日 (日) 13 時開講	オンライン開催
・ 卒後コース	2021 年 7 月 2 3 日 (祝) 13 時開講	千葉市民会館
・ DL 養成コース	2021 年 8 月 2 9 日 (日) 13 時開講	千葉市民会館
・ ブラッシュアップ研修会	2021 年 9 月 2 0 日 (祝) 13 時開講	千葉市民会館
・ ブラッシュアップ研修会	2021 年 10 月 2 3 日 (土) 13 時開講	千葉市民会館
・ ブラッシュアップ研修会	2021 年 11 月 2 3 日 (祝) 13 時開講	千葉市民会館

地区 RLI 参加状況 2021 年 4 月 3 日現在

地区内参加者 393 名 パート I II III 修了者 252 名 DL 養成コース修了者 113 名

RLI 通信 7 月号 2021 年 4 月 3 日発行

国際ロータリー第 2790 地区 RLI 推進委員会

委員長 山下 清俊 (市川東) 委員 清田 浩義 (千葉) 齋藤 由紀 (柏南) 水嶋 陽子 (館山)

〒 260-0042 千葉市中央区椿森 3-1-1-302 TEL043-284-2790 FAX043-256-0008